

第三者評価結果の公表事項

①第三者評価機関名

一般社団法人 宮崎県社会福祉士会

②評価調査者研修修了番号

2017-02、2022-04、2022-06

③施設の情報

名称： あすか園	種別： 障がい者支援施設	
代表者氏名： 木村 祐三	定員（利用人数） 50名	
所在地： 串間市大字南方 3431-5		
TEL：0987-72-3781	ホームページ：http://www.tatugutikai.jp	
【施設の概要】		
開設年月日： 昭和 62 年 5 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 龍口会		
職員数	常勤職員： 17名	非常勤職員： 5名
有資格 職員数	社会福祉士： 3名	
	介護福祉士： 2名	
	実務者研修： 3名	
	初任者研修： 1名	ヘルパー2級 2名
	介護支援専門員： 0名	
	看護師： 0名	
	准看護師： 1名	
	相談支援専門員： 2名	
サービス管理責任者： 4名		
施設・設備 の概要	（居室数） 13室	（設備等）
		トイレ2か所、食堂、多目的室、相談室、

④理念・基本方針

法人基本理念

- ・利用者様の幸せを願って、限りなくロマン「夢と希望」を求め続ける施設づくり
- ・地域社会への貢献
- ・透明性の高い、健全な法人経営

法人基本方針

家庭的な雰囲気の中で、入所する利用者が「夢と希望」を持ち、健康的で充実した生活が送れるよう、個別支援計画を基本に、利用者様の希望や心身の状況に応じた入所施設・リハビリテーション・レクリエーション等の提供を行う。

施設入所支援では清潔で快適な居住空間の提供、障がい特性に応じた適切な支援を行う。また利用者に寄り添い親身になって相談、助言等を行う事で利用者、家族との信頼関係構築に努める。

職場環境においては情報共有、職員相互のコミュニケーションの促進を図ることで働きやすい職場づくりを推進し、活気あふれる雰囲気づくりを実践していく。

⑤施設の特徴的な取組

・生活介護として、花・野菜の苗の栽培および販売。木工品の測量に使用される杭などの製造販売や木の剪定作業・草刈りなどの園外作業を行っており、利用者に働く喜びを感じて頂くため日々取り組んでおります。

・木工製品を作る際にでる廃材・端材などを焚き物などにしての販売なども行っており、職員も SDGS の勉強会を行うなど、法人での SDGS を推進し取り組んでおります。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 04 年 08 月 16 日（契約日）～ 令和 05 年 03 月 27 日（評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成 年度

⑦総評

◇特に評価の高い点

・緑に囲まれた自然の中で、さまざまな動物たちと一緒に、のびのびと利用者は自分の能力に応じた生活活動に取り組んでいます。施設長も職員や利用者と一緒に、活動に参加している姿も家族的な雰囲気、理念の実現のために努力している姿を感じ取ることができました。

・事業計画の策定では、理念や基本方針の実現のために、単年度の計画は、数値目標や具体的な成果、SDGs の取組みも含まれて、評価しやすい計画となっています。

・利用者一人ひとりのプロフィールシートや個別支援計画関連のシートを、施設長と職員とで必要な情報がすぐわかるように作成されています。また、定期的に内容の更新もされ、職員が常に統一した支援ができるような取組みとなっているところが高く評価できます。

・施設長は職員が働きやすいように意見や意向を踏まえて人員配置を行ったり、ノー残業や福利厚生にも力を入れ、ワークライフ・バランスに配慮した、働きやすい環境整備に取り組まれていることが評価できます。

◇改善を求められる点

・施設長を中心に、支援の体制は確立してはいますが、標準的な支援を安心安全に提供するためには、倫理綱領やさまざまな支援・対応マニュアル等の整備は必須です。そのためにも、早急に整備に取り組むことを望みます。

・苦情解決のしくみは整っていますが、現在、苦情がない状況なので、より利用者や家族が意見を述べやすい環境を整えていく事が望まれます。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

今回初めて第三者評価を受審し、評価結果を頂き、私たちが行ってきた施設サービスは間違っていなかったと改めて感じました。ですがまだまだ改善できるところはたくさんあります。問題の発見と改善を繰り返し、利用者様が笑顔で幸せを感じられる、ロマン「夢と希望」あふれる施設づくりを目指し職員一丸となって取り組んでいきます。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。